

地方公務員

都道府県庁や市役所、町村役場をはじめとする地方公共団体などに勤務し、「地域生活を支える仕事」を行います。時には地域住民と協働しながら、地域独自のまちづくりや行政サービスを提供します。

具体的な職種・仕事内容

■ 都道府県庁職員

本庁や出先機関(県税事務所、保健福祉事務所)で国と市区町村間の橋渡しや、企業・ボランティア団体との連携等、広域に渡る行政サービスを行い県の活性化に携わります。

■ 学校事務職員

教育委員会や公立の学校で学校運営を支える幅広い業務に従事します。具体的には教育施策の企画立案・実施や教育施設の維持・管理、教職員の福利厚生などを行います。

■ 警察事務職員

警察本部の各課や県内の各警察署に勤務します。経理、庶務、統計、生活安全、交通安全等に関する事務を行い、警察官の良きパートナーとして、警察組織を支えます。

■ 市町村役場職員

産業振興、防災・防犯対策、福祉・教育の充実など市民生活の基盤を作る、一般市民に最も近い公務員です。2~5年おきに異動があり、様々な仕事で市民と関わることができます。

■ 警察官

都道府県警察本部や警察署、交番等で、地域の保安に努めます。パトロールや交通指導取締り業務のほか、サイバー犯罪対策、爆発物や化学物質の処理など特殊な業務もあります。

■ 消防官

各地方自治体の消防本部や消防署に所属する消防官として、火災現場の消火活動だけではなく、傷病者の応急処置・搬送なども行い地域住民の安全な暮らしを守っています。

正しくはこちら